令和7年 3月 6日（木曜日）

○議事日程（第2号）

令和7年3月6日（木）午前10時00分開議

- 日程第 1 議案第15号 東庄町公民館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて
- 日程第 2 議案第16号 東庄町公民館使用料徴収条例の一部を改正する条例を制定することについて
- 日程第 3 議案第17号 オーシャンプラザ設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて
- 日程第 4 議案第18号 東庄町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を制定することについて
- 日程第 5 議案第19号 東庄町火入れに関する条例の一部を改正する条例を制定することについて
- 日程第 6 議案第20号 財産の無償貸付について
- 日程第 7 議案第21号 令和6年度東庄町一般会計補正予算（第7号）
- 日程第 8 議案第22号 令和6年度東庄町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）
- 日程第 9 議案第23号 令和6年度東庄町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- 日程第10 議案第24号 令和6年度東庄町介護保険特別会計補正予算（第3号）
- 日程第11 議案第 2号 令和7年度東庄町一般会計予算
- 日程第12 議案第 3号 令和7年度東庄町国民健康保険特別会計予算
- 日程第13 議案第 4号 令和7年度東庄町後期高齢者医療特別会計予算
- 日程第14 議案第 5号 令和7年度東庄町食肉センター特別会計予算
- 日程第15 議案第 6号 令和7年度東庄町訪問看護ステーション特別会計予算
- 日程第16 議案第 7号 令和7年度東庄町介護保険特別会計予算
- 日程第17 議案第 8号 令和7年度東庄町水道事業会計予算
- 日程第18 議案第 9号 令和7年度東庄町国民健康保険東庄病院事業会計予算
- 日程第19 休会の件

○本日の会議に付した案件

議事日程のとおり

○出席議員（14名）

1 番 海 宝 和 宏 君
2 番 渡 邊 幸 江 君
3 番 前 田 君 江 君
4 番 岩 井 弘 晃 君
5 番 越 川 良 男 君
6 番 柳 堀 忠 君
7 番 桜 井 莊 一 君
8 番 宮 澤 健 君
9 番 大 網 正 敏 君
10 番 佐久間 義 房 君
11 番 高 木 武 男 君
12 番 鈴 木 正 昭 君
13 番 山 崎 ひろみ 君
14 番 板 寺 正 範 君

○欠席議員

な し

○出席説明員（14名）

町 長 岩 田 利 雄 君
副 町 長 向 後 喜一朗 君
監 査 委 員 平 山 茂 君
総 務 課 長 堀 江 弘 之 君
企画財政担当課長 加 瀬 博 子 君
町 民 課 長 香 取 康 成 君
まちづくり課長 鈴 木 秀 樹 君
健康福祉課長 布 施 光 規 君
会 計 管 理 者 堀 江 香 澄 君
病 院 事 務 長 渡 辺 佳 則 君

農業委員会事務局長 前 田 泰 孝 君
教 育 長 石 橋 宏 克 君
教 育 課 長 宇ノ澤 修 君
生涯学習担当課長 郡 伸 明 君

○出席事務局員（3名）

事 務 局 長 伊 藤 雅 晃
次 長 向 後 順 子
副 主 査 白 石 直 人

(午前10時00分 開議)

議長（板寺正範君）

ただいまの出席議員は全員です。

これから本日の会議を開きます。

本日の議事日程はお手元に配付のとおりです。

日程第1、議案第15号、東庄町公民館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて、日程第2、議案第16号、東庄町公民館使用料徴収条例の一部を改正する条例を制定することについて、以上2案を一括議題とします。

職員に議案の朗読をさせます。

(事務局朗読)

議長（板寺正範君）

本案について提案理由の説明を求めます。

町長、岩田利雄君。

町長（岩田利雄君）

それでは、一括議題となりました議案第15号、東庄町公民館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて及び議案第16号、東庄町公民館使用料徴収条例の一部を改正する条例を制定することについて提案理由を申し上げます。

本案件は、東庄町公民館石出分館の利活用を進めるため、用途を廃止し、教育財産から普通財産に変更をするにあたり、関連する条例について所要の改正を行うものでございます。

なお、詳細につきましては担当課長より説明をいたさせます。ご審議の上、可決くださいますよう、よろしくお願いを申し上げます。

議長（板寺正範君）

生涯学習担当課長、郡伸明君。

生涯学習担当課長（郡 伸明君）

議案第15号、東庄町公民館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて内容の説明を申し上げます。

本年1月6日に開催されました東庄町空き公共施設利活用庁内検討会議において、

東庄町公民館石出分館の利活用について検討した結果、放課後等デイサービス事業に利用することとなりました。

また、東庄町公民館石出分館に設置されている教育支援センターにつきましては、旧橘小学校の1室に移設いたします。

今回の改正は、東庄町公民館石出分館の利活用を進めるため、用途を廃止し、教育財産から普通財産に変更するにあたり、関連する条例について所要の改正を行うものです。

参考資料の24ページ、新旧対照表をご覧ください。

改正箇所は、別表第2の表から東庄町公民館石出分館の項を削るものであります。

続きまして、議案第16号、東庄町公民館使用料徴収条例の一部を改正する条例を制定することについての内容の説明を申し上げます。

参考資料の25、26ページの新旧対照表のうち、26ページをご覧ください。

本条例は、公民館の使用料徴収について定めたものですが、今回の改正は、先程ご説明申し上げました東庄町公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正に伴うものであり、別表から石出分館の部を削るものです。

以上で説明を終わります。よろしくご審議をお願いいたします。

議長（板寺正範君）

提案理由の説明が終わりましたので、これから質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（板寺正範君）

質疑なしと認めます。

お諮りします。

討論を省略して直ちに採決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（板寺正範君）

ご異議なしと認めます。

これから採決を行います。採決は1件ごとに行います。

初めに、議案第15号、東庄町公民館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例を制定することについてを採決します。

本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長 (板寺正範君)

ご異議なしと認めます。

従って、議案第15号は原案のとおり可決されました。

次に、議案第16号、東庄町公民館使用料徴収条例の一部を改正する条例を制定することについてを採決します。

本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長 (板寺正範君)

ご異議なしと認めます。

従って、議案第16号は原案のとおり可決されました。

日程第3、議案第17号、オーシャンプラザ設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例を制定することについてを議題とします。

職員に議案の朗読をさせます。

(事務局朗読)

議長 (板寺正範君)

本案について提案理由の説明を求めます。

町長、岩田利雄君。

町長 (岩田利雄君)

それでは、議案第17号、オーシャンプラザ設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて提案理由を申し上げます。

本案件は、オーシャンプラザ利用時の損害賠償及び事故の責任について本条例に規定されていなかったことから、規定を追加するため所要の改正を行うものでございます。

なお、詳細につきましては、担当課長より説明をいたさせます。ご審議の上、可決くださいますよう、よろしくお願いを申し上げます。

議長 (板寺正範君)

健康福祉課長、布施光規君。

健康福祉課長 (布施光規君)

それでは、議案第17号、オーシャンプラザ設置及び管理に関する条例の一部を

改正する条例を制定することについて内容の説明を申し上げます。

今回の主な改正は、町長の提案理由にございましたように、オーシャンプラザ利用時の損害賠償及び事故の責任について本条例に規定されていなかったことから、規定を追加するため所要の改正を行うものでございます。

恐れ入りますが、参考資料の27ページ、新旧対照表の左側の改正案をご覧くださいと存じます。

第7条第1項の改正は、利用許可申請書をオーシャンプラザ利用許可申請書に、同条第3項の改正は、利用許可書をオーシャンプラザ利用許可書に改めるものでございます。

次に、第10条を第11条とし、第10条に損害賠償及び事故の責任の規定を新たに加えるものでございます。

恐れ入りますが、議案書の84ページをご覧くださいと存じます。

最下段に記載のとおり様式1号及び様式2号を85ページ、86ページのとおり改めるものでございます。

様式第1号及び様式第2号の改正は、令和2年7月7日、総務省自治行政局長通知、地方公共団体における書面規制、押印、対面規制の見直しについてにより、デジタル時代に向けた規制制度の見直しの一環として、押印の見直しに積極的に取り組むことが望まれるとの技術的助言があったことにより改正するものでございます。

85ページをご覧ください。

様式第1号は、下段に返却確認者印と記載されていたものを返却確認者に改め、86ページをご覧ください、様式第2号の改正は、上段にあります施設担当課長の右側に印の記載があったものを削除したものでございます。

87ページをご覧ください。

附則についてですが、この条例は令和7年4月1日から施行するものでございます。

以上でオーシャンプラザ設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例を制定することについての説明を終わらせていただきます。よろしくご審議のほど、お願い申し上げます。

議長（板寺正範君）

提案理由の説明が終わりましたので、これから質疑を行います。

13番、山崎ひろみ君。

13番（山崎ひろみ君）

そもそもすみません、認識不足での質問になるかもしれませんが、オーシャンプラザは、現在、社会福祉協議会はもちろん、シルバーの事務局にもなっていて、後ろの研修室は町でいろいろな行事をする時に研修室として利用すると思うんですけども、一般町民に貸し出すということはあるんですか。

議長（板寺正範君）

健康福祉課長、布施光規君。

健康福祉課長（布施光規君）

オーシャンプラザにつきましては、現在、シルバー人材センターと社会福祉協議会とリハビリの部屋がございます。あと、残り、先程お話があったようなヘルパー研修室という空き部屋というか、会議をするような部屋があるんですけども、そこについては貸出しもあり得るということになっております。

ただ、私が知る限りでは、今まで借りたいという方が来たことはないような状況になっております。

以上です。

議長（板寺正範君）

13番、山崎ひろみ君。

13番（山崎ひろみ君）

その場合の利用料というか、使用料は徴収しますか。

議長（板寺正範君）

健康福祉課長、布施光規君。

健康福祉課長（布施光規君）

利用料につきましては、現在、手元に資料がないので何とも言えないんですけども。今お答えすることが出来ません。

以上です。

13番（山崎ひろみ君）

承知しました。

議長（板寺正範君）

他にありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長 (板寺正範君)

これで質疑を終わります。

お諮りします。

討論を省略して直ちに採決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長 (板寺正範君)

ご異議なしと認めます。

これから採決を行います。

議案第17号、オーシャンプラザ設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例を制定することについてを採決します。

本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長 (板寺正範君)

ご異議なしと認めます。

従って、議案第17号は原案のとおり可決されました。

日程第4、議案第18号、東庄町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を制定することについてを議題とします。

職員に議案の朗読をさせます。

(事務局朗読)

議長 (板寺正範君)

本案について提案理由の説明を求めます。

町長、岩田利雄君。

町長 (岩田利雄君)

それでは、議案第18号、東庄町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を制定することについて提案理由を申し上げます。

本案件は、地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行によりまして、栄養士法が改正されたことに伴い、所要の改正を行うものでございます。

なお、詳細につきましては、担当課長より説明をいたさせます。ご審議の上、可決くださいますよう、よろしくお願いを申し上げます

議長（板寺正範君）

健康福祉課長、布施光規君。

健康福祉課長（布施光規君）

それでは、議案第18号、東庄町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を制定することについて、内容の説明を申し上げます。

町長の提案理由にございましたように、地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、栄養士法の改正が行われ、栄養士免許を取得せずとも管理栄養士になることが可能となったもので、これを受けまして、国が策定しております家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準では、栄養士の配置を求めていた規定について、栄養士免許を有しない管理栄養士を配置した場合についても、当該要件を満たすことが出来る旨の改正が行われました。

今回の改正は、国の家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準は、地方公共団体が条例で当該施設の基準を定める際に従うべき基準とされているため、本条例の改正が必要となったことから、所要の改正を行うものでございます。

恐れ入りますが、参考資料28ページの新旧対照表、左側の改正案をご覧ください。

下段にあります第16条第1項第2号の改正は、家庭的保育事業者等の利用乳幼児に対する食事の提供を家庭的保育所等外で調理し、搬入する方法により行う際に求めている管理栄養士による必要な配慮について、管理栄養士を追加する改正でございます。

恐れ入りますが、議案書の89ページをご覧いただきたいと存じます。

附則についてですが、この条例は令和7年4月1日から施行するものでございます。

以上で東庄町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を制定することについての説明終わらせていただきます。よろしくご審議のほど、お願い申し上げます。

議長（板寺正範君）

提案理由の説明が終わりましたので、これから質疑を行います。

9番、大網正敏君。

9番（大網正敏君）

とても勉強不足で申し訳ないんですけども、家庭栄養士につきまして、もう少し説明してもらってよろしいでしょうか。

議長（板寺正範君）

健康福祉課長、布施光規君。

健康福祉課長（布施光規君）

ただいまのご質問は栄養士についてでしょうか。

議長（板寺正範君）

9番、大網正敏君。

9番（大網正敏君）

ここでいう、家庭栄養士ということなので、家庭栄養士とは何かということで、管理栄養士、すみません、そのところの説明をお願いします。

議長（板寺正範君）

健康福祉課長、布施光規君。

健康福祉課長（布施光規君）

管理栄養士につきましては、管理栄養士国家試験というものがございまして、栄養士の免許を受けた者が受験者資格があるという形になっておりまして、その試験に合格した者が管理栄養士という形になっております。

以上です。

議長（板寺正範君）

9番、大網正敏君。

9番（大網正敏君）

分かりました。栄養士から管理栄養士の試験を受けるという、ちょっと上の資格だということで、はい、分かりました。どうもすみません。

議長（板寺正範君）

健康福祉課長、布施光規君。

健康福祉課長（布施光規君）

すみません、ちょっと言葉足らずでございました。従前は、国家試験の管理栄養士の試験を受けて、合格した者が管理栄養士という形ですけれども、栄養士免許がなくても管理栄養士養成施設卒業者等は、管理栄養士となるという形になっておりますので、そういう2パターンですね。管理栄養士の試験を受けた者と、そういう養成施設の卒業者についても管理栄養士となるという形になっております。

以上です。

9番（大網正敏君）

分かりました。

議長（板寺正範君）

他にありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（板寺正範君）

これで質疑を終わります。

お諮りします。

討論を省略して直ちに採決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（板寺正範君）

ご異議なしと認めます。

これから採決を行います。

議案第18号、東庄町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を制定することについてを採決します。

本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（板寺正範君）

ご異議なしと認めます。

従って、議案第18号は原案のとおり可決されました。

日程第5、議案第19号、東庄町火入れに関する条例の一部を改正する条例を制定することについてを議題とします。

職員に議案の朗読をさせます。

（事務局朗読）

議長（板寺正範君）

本案について提案理由の説明を求めます。

町長、岩田利雄君。

町長（岩田利雄君）

それでは、議案第19号、東庄町火入れに関する条例の一部を改正する条例を制定することについての提案理由を申し上げます。

現在、町では令和7年4月から押印省略に向けて必要な手続きを進めておりますが、現行の本条例は施行規則がなく、条例の中で申請様式等で規定されており、申請書には押印をするように定めております。今回の改正は、押印様式を新たに制定する規則に委任し、押印省略を進めるべく、所要の改正を行うものでございます。

なお、詳細につきましては担当課長より説明をいたさせます。ご審議の上、可決くださいますよう、よろしくお願いを申し上げます。

議長（板寺正範君）

まちづくり課長、鈴木秀樹君。

まちづくり課長（鈴木秀樹君）

それでは、議案第19号、東庄町火入れに関する条例の一部を改正する条例についての内容をご説明いたします。

東庄町火入れに関する条例は、森林及び森林から1キロメートル以内で火入れを行う場合は、森林法第21条に基づく許可や手続き等の必要な事項を平成3年3月に定めたものです。

町長から提案理由がありましたが、現行の条例は施行規則がなく、条例の中に申請様式等が規定されており、申請書には押印をするよう定めております。

現在、町では令和7年4月から押印を省略するための必要な手続きを進めております。そのため、今回の改正は施行規則を新たに制定し、規則で規定すべきものは規則で定め、併せて申請書等の押印を廃止するものでございます。

それでは恐れ入りますが、参考資料の29ページをお願いいたします。

東庄町火入れに関する条例の新旧対照表をご覧ください。第2条の関係であります。許可申請を規定する条文です。現行の条例では、申請する様式、添付書類を規定してございましたが、改正案では、規則を定めて委任するものです。

次に、現行第4条は、同じく規則で規定するために削除するものです。

現行第9条については、許可証の返納を求めておりましたが、返納を求めないこととし、削除しております。

その他文言の修正を行い、最後のページでは、条例の中に規定されていた様式第1号、様式第2号を削除しております。

以上で説明を終わります。よろしくご審議のほど、お願いいたします。

議長（板寺正範君）

提案理由の説明が終わりましたので、これから質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（板寺正範君）

質疑なしと認めます。

お諮りします。

討論を省略して直ちに採決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（板寺正範君）

ご異議なしと認めます。

これから採決を行います。

議案第19号、東庄町火入れに関する条例の一部を改正する条例を制定することについてを採決します。

本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（板寺正範君）

ご異議なしと認めます。

従って、議案第19号は原案のとおり可決されました。

日程第6、議案第20号、財産の無償貸付についてを議題とします。

職員に議案の朗読をさせます。

（事務局朗読）

議長（板寺正範君）

本案について提案理由の説明を求めます。

町長、岩田利雄君。

町長（岩田利雄君）

それでは、議案第20号、財産の無償貸付について提案理由を申し上げます。

本年1月6日に開催をいたしました東庄町空き公共施設等利活用庁内検討会議におきまして東庄町公民館石出分館の利活用について検討した結果、放課後等デイサービス事業に利用することに決定し、民間事業者に運営していただくことになりました。

本事業は事業者が土地及び建物を無償貸付して行うものであり、地方自治法第96条第1項第6号の規定により議会の議決が必要となるため、提案させていただいたものでございます。

なお、詳細につきましては担当課長より説明をいたさせます。ご審議の上、可決くださいますよう、よろしくお願いを申し上げます。

議長（板寺正範君）

総務課長、堀江弘之君。

総務課長（堀江弘之君）

それでは、議案第20号、財産の無償貸付について内容の説明を申し上げます。

議案書93ページをお開きください。

東庄町石出分館につきましては、2月の全員協議会において行政執行上の報告でも説明させていただきましたが、本年1月6日に開催いたしました東庄町空き公共施設等利活用庁内検討会議において東庄町公民館石出分館の利活用について検討した結果、放課後等デイサービス事業に利用することに決定し、民間事業者に運営していただくこととなりました。

放課後等デイサービスにつきましては、公設での設置は難しいことから、民間の事業者の誘致を検討していたものでございます。

事業の運営につきましては、県外で大きく事業を展開している株式会社サシノベルテを誘致する予定でございますが、開設に伴う修繕費等についても全て当該事業者が負担していただけるということでございますので、土地及び建物については無償で貸し付ける契約としたいと考えております。

本事業は、事業者が土地及び建物を無償貸付して行うものでございますので、地方自治法第96条第1項第6号の規定により議会の議決が必要となるため、提案させていただいたものでございます。

今回貸し付ける財産は、グラウンドを含めた土地と公民館、倉庫を含めた全ての

建物となっております。

94ページをお願いします。

貸付の相手方でございますが、茨城県桜川市真壁町飯塚1006番2号、株式会社サシノベルテ、代表取締役久保田嘉郎。

無償貸付の期間は、貸付契約締結の日から10年間とし、貸付期間の満了する2ヶ月前までに町が契約の変更等に関し特段の意思を表示しない場合には、契約を更に5年間更新するものでございます。

契約の時期でございますが、今後、事業者との協議にもよりますが、なるべく早く開設したいため、今月中に契約したいと考えております。

以上で財産の無償貸付についての説明を終わります。よろしくご審議のほど、お願いいたします。

議長（板寺正範君）

提案理由の説明が終わりましたので、これから質疑を行います。

9番、大網正敏君。

9番（大網正敏君）

すみません、少しお伺いします。

これは無償貸付ということなので、どうなのでしょう、事業報告とかそういうのはもらうような形になっているのでしょうか。10年間そのまま貸し付けて、そのままになってしまうのか、それとも1年ごとに事業報告を受けるのか、ちょっとそこら辺、教えてください。

議長（板寺正範君）

健康福祉課長、布施光規君。

健康福祉課長（布施光規君）

こちらの放課後等デイサービスとしての株式会社サシノベルテへの無償貸付ですけども、現状、まだそこまで検討はしておりませんので、今後、契約する際、詳細をまた詰めていくことになるかと思いますが、その時に検討したいと考えております。

以上です。

議長（板寺正範君）

9番、大網正敏君。

9 番（大網正敏君）

分かりました。今後の契約の時ということで、出来たら1年ごとに事業報告を受けたりして、どういう活動をしたり、どういう営業成績だったかというのを報告してもらいたいなと思います。

以上です。

議長（板寺正範君）

10番、佐久間義房君。

10番（佐久間義房君）

建物そのものは結構古いと思うんですけども、大体、耐久年数はあとどのくらいもつのかなど。それと天災が起きて建物が壊れた場合、その修復は町が行うのか、借りている方が行うのか、その辺のところを明確にお願いします。

議長（板寺正範君）

総務課長、堀江弘之君。

総務課長（堀江弘之君）

それではお答えします。

耐用年数でございますが、木造建築でございますので、特に法律的な定めはありませんので、適宜修繕しながら耐久性は伸びていくものと考えます。

また、天災等で大きな破損があった場合ということでございますが、建物本体に大きな損傷が出た場合は、やはり持ち主である役場で修繕するか、廃止して取り壊すかを判断することとなろうかと思えます。

よろしくをお願いします。

議長（板寺正範君）

10番、佐久間義房君。

10番（佐久間義房君）

建物に関しては分かりましたけれども、設備に関してはどうなんでしょうか。エアコンだとか、その辺、設備に対しての、壊れて何かする場合は、借主が負担するのか、町が負担するのか、その辺も少しお願いします。

議長（板寺正範君）

健康福祉課長、布施光規君。

健康福祉課長（布施光規君）

今回の貸付につきましては、建物本体については町の方で修繕、大きなもので修繕が必要な場合は町で行いますけれども、内部につきましては、全て事業者側の負担となっております。ですので、これから事業を行うにあたっては改修が必要になってはいますけれども、そこも含めて、内部については全部事業者の負担で修繕を行います。

以上です。

議長（板寺正範君）

他にありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（板寺正範君）

これで質疑を終わります。

お諮りします。

討論を省略して直ちに採決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（板寺正範君）

ご異議なしと認めます。

これから採決を行います。

議案第20号、財産の無償貸付についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（板寺正範君）

ご異議なしと認めます。

従って、議案第20号は原案のとおり可決されました。

ここで暫時休憩とします。再開は午前10時50分からとします。

（午前10時40分 休憩）

（午前10時50分 再開）

議長（板寺正範君）

休憩前に引き続き、会議を開きます。

ここで先程の山崎議員の質問に対し、健康福祉課長より答弁の申し出がありますので、これを許します。

健康福祉課長、布施光規君。

健康福祉課長（布施光規君）

それでは、先程の山崎議員のご質問に対してのご説明をしたいと思います。

オーシャンプラザにつきましては、高齢者の広い知識、知恵、経験を生かして社会参加することにより、高齢者の健康増進と生きがいの創造を目的としてオーシャンプラザが設置されておりますので、そちらの要件に該当するような団体等にお貸しする形になると思います。

その中で、営利を目的とした行為等には許可をしないという形になっております。オーシャンプラザ設置及び管理に関する条例の中で、利用料金についての定めがないという形になっておりますので、利用申請が上がって、許可出来るものについては無償で貸し出すという形になっております。

以上です。

議長（板寺正範君）

日程第7、議案第21号、令和6年度東庄町一般会計補正予算（第7号）から日程第10、議案第24号、令和6年度東庄町介護保険特別会計補正予算（第3号）まで、以上4案を一括議題とします。

職員に議案の朗読をさせます。

（事務局朗読）

議長（板寺正範君）

本案について提案理由の説明を求めます。

町長、岩田利雄君。

町長（岩田利雄君）

それでは、ただいま一括議題となりました議案第21号から議案第24号まで、一般会計及び特別会計3件の補正予算につきまして提案理由を申し上げます。

初めに、議案第21号、令和6年度東庄町一般会計補正予算（第7号）の提案理由を申し上げます。

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5,073万3,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ72億215万4,000円とするものであります。

また、第2条、繰越明許費で翌年度に繰り越して使用することが出来る経費を定

めております。

歳出の主な補正内容でございますけれども、民生関係におきまして、保育事業に係る国の基準となる公定価格が改定されたことに伴う追加費用を増額補正しております。衛生関係では、新型コロナワクチン接種事業の事業費確定に伴う返還金について新規計上をいたしました。教育関係では、旧学校給食センターの跡地利用に伴い、近接の土地に付け替え道路が必要となることから、整備関係費用について新規計上しております。基金関係では、奨学基金や減債基金への積立について新規計上しております。

歳入につきましては、普通交付税、国・県補助金、財政調整基金繰入金などの増額補正を行い、町債について減額補正を行っております。

また、歳入が歳出に不足する分につきましては、繰越金を補正しております。

続いて、議案第22号、令和6年度東庄町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）について提案理由を申し上げます。

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ379万3,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ17億422万8,000円とするものがございます。この補正につきましては、国保東庄病院への繰出金の増額を盛り込むものであります。

続いて、議案第23号、令和6年度東庄町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について提案理由を申し上げます。

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,674万9,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ2億3,083万円とするものがございます。この補正につきましては、後期高齢者医療保険料の増額に伴う保険料負担金の増額を盛り込むものであります。

続いて、議案第24号、令和6年度東庄町介護保険特別会計補正予算（第3号）について提案理由を申し上げます。

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ550万円を追加いたしまして、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ16億2,201万5,000円とするものがございます。

主な補正の内容でございますけれども、歳出で介護予防、生活支援、サービス事業費の増額補正をするものがございます。財源といたしましては、繰越金をもって

充てるものでございます。

以上、議案第21号から議案第24号までの提案理由を申し上げました。

詳細につきましては担当課長より説明をいたさせます。ご審議の上、可決くださいますよう、よろしくお願いを申し上げます。

議長（板寺正範君）

企画財政担当課長、加瀬博子君。

企画財政担当課長（加瀬博子君）

それでは、議案第21号、令和6年度東庄町一般会計補正予算（第7号）の内容について説明させていただきます。

歳出予算から申し上げますので、議案書の104ページをお願いいたします。

2款・総務費、2項1目・税務総務費の3節・時間外勤務手当70万円。確定申告業務について、定額減税の実施により事務負担が増加することなどによる増額補正となります。

続きまして、3款・民生費、1項4目・地域包括支援センター費の18節・介護予防サービス計画給付費負担金40万円。支援対象者の増加により負担金が不足することから増額補正するものです。財源については、全額サービス計画費収入により補填されます。

2項2目・児童措置費、12節・保育事業委託料418万円。保育事業の国の基準による公定価格が改定されたことに伴う追加費用です。こちらの財源は国2分の1、県4分の1の負担がございます。

同節・妊婦支援給付金対応システム改修委託料75万9,000円。妊婦支援給付金制度が令和7年度から開始されることに伴うシステム改修経費となり、全額国庫補助となります。

続きまして、4款・衛生費、1項2目・予防費、22節・新型コロナウイルスワクチン接種事業国庫補助金等返還金967万1,000円。令和5年度のワクチン接種事業の事業費確定に伴う精算となります。

次に、5款・農林水産業費、1項2目・農業総務費、8節・普通旅費2万3,000円。高病原性鳥インフルエンザの防疫対応に伴う増額補正となり、全額県補助となります。

次の7目・ふれあいセンター費から、105ページに移りまして、9款・教育費、

3項・中学校費までは財源振替を行っております。こちらは歳出額に変更がなく、財源の変更のみを行うものとなります。こちらについては、この後、歳入予算の中でご説明させていただきます。

続きまして、9款・教育費、6項3目・学校給食費の合計1,000万円。旧東庄町給食センターの近隣の土地に付け替える道路が必要となることから、整備費を新規計上しております。

こちらの概要につきましては、旧東庄町給食センターの跡地利活用に際し、旧給食センター敷地内に法定外公共物である赤道が含まれていることが分かりました。払下げを行う跡地利活用につきましては、この赤道を用途廃止する手続きが必要となり、赤道の用途廃止に当たりましては、近隣の関係者に対して新たな進入路の確保が必要となります。このようなことから、進入路としての付け替え道路を整備する費用を新規計上したものでございます。

続きまして、12款・諸支出金、1項1目・基金費、24節・奨学基金積立金200万円。指定寄附を受けて奨学事業に活用する基金の積立となります。

同節・減債基金積立金2,300万円。普通交付税の増額に伴う減債基金への積立となります。国からの通知により実施するもので、令和7年、8年度の普通交付税から公債費償還額の一部が減額予定であり、減額相当分について、令和6年度の普通交付税が増額となったことから、減債基金へ積立をするものであります。

次に、歳入について申し上げます。お手数ですが、議案書の102ページをお願いいたします。

11款・地方交付税、1項1目1節・普通交付税9,324万3,000円。普通交付税について、地方公務員の給与改定などに伴う追加交付があったことから増額補正をするものです。補正後の普通交付税総額といたしましては、21億8,324万3,000円となり、前年度比で7,709万2,000円、3.7%の増となります。

続きまして、15款・国庫支出金、1項1目2節・子どものための教育・保育給付費給付費国庫負担金208万9,000円。歳出の民生費で申しあげました保育事業委託料に対する国庫負担金です。

2項2目3節・妊婦のための支援給付75万9,000円。歳出補正の民生費で申しあげました妊婦支援給付金対応システム改修委託料に対する国庫補助金です。

16款・県支出金、1項2目・民生費県負担金の合計104万4,000円については、先程、国庫負担金で申しあげました同名負担金と同様の県負担金となります。

2項4目7節・家畜防疫対応補助金22万3,000円。歳出補正の農林水産業費で申しあげました、鳥インフルエンザの防疫対応に対する県補助金で、既存の時間外勤務手当等へも一部財源振替を行っております。

続きまして、18款・寄附金、1項2目1節・指定寄附金として、教育関係で200万円。こちらは東洋合成工業株式会社千葉工場様より歳出予算、教育費の奨学基金の原資として寄附をいただいております。

続いて、19款・繰入金、2項3目1節・財政調整基金繰入金5,000万円。財政状況により財源確保のため繰り入れるものです。この後ご説明する過疎対策事業債ソフト分に係る起債の借入配分額の減少などに伴い、財源を確保するものです。これにより、繰入後の財政調整基金の残高見込みといたしましては、13億6,585万1,000円となります。

一つ飛ばしまして、21款・諸収入、5項3目1節・介護予防サービス計画費収入200万円。歳出補正の民生費で申しあげました同名負担金に対する計画費の収入です。

103ページをお願いいたします。

22款・町債、1項1目1節・臨時財政対策債、マイナス2,500万円。将来の公債費負担の軽減を図るため、今年度は借入れを行わないことといたしました。

2目1節・過疎対策事業債、ソフト分、マイナス2,500万円及びハード分、マイナス6,790万円。ソフト分につきましては、国から配分額が示されたことにより減額補正となります。こちらは歳出予算の小学校費、中学校費で財源振替を行っております。また、ハード分につきましては、事業費の精査等により発行額が減少しております。こちらは歳出予算のふれあいセンター費、道路維持費、道路新設改良費、公園費で財源振替を行っております。

最後に、歳入が歳出に不足する1,887万5,000円につきましては、20款・繰越金の前年度繰越金を補正するものです。

続いて、98ページの第2表をお願いいたします。

第2条の繰越明許費として、地方自治法第213条第1項の規定に基づき、翌年

度に繰り越して使用することの出来る経費を定めるものです。

9件ございます。まず、3款1項・価格高騰支援給付金事業832万8,000円。非課税世帯を対象とした給付金について、振り込み事務等に期間を要することによる繰越となります。

2項・妊婦支援給付金対応システム改修事業75万9,000円。先程、歳出補正、民生費で申しあげました費用となります。国の動向を踏まえたシステム仕様の構築に期間を要することによる繰越となります。

4款1項・新型コロナウイルスワクチン接種事業339万円。ワクチン接種事業の繰越となります。請求事務等に期間を要することによるものです。

5款1項・農道舗装改修工事580万円。電柱移転の遅延による繰越となります。

同項・ふれあいセンター維持補修工事4,719万円。こちらは財源となる過疎対策事業債の協議に期間を要したことによる繰越となります。

7款2項・道路維持工事1,869万9,000円。工事3本、突発的に発生した修繕対応や特注品の納期の遅延による繰越となります。

同項の道路改良工事、こちらは5,255万円。こちらも町道工事3本、特注品の納期の遅延や土地買収に係る手続きに期間を要したことによる繰越となります。

4項・公園新設工事3,000万円。基本計画の策定に不測の日数を要したことによる繰越となります。

9款6項・付替道路整備事業1,000万円。先程、歳出補正、教育費で申しあげました旧給食センター付近の付替道路の整備について期間を要することから繰越しするものです。

続いて、第3条・地方債の補正です。99ページの第3表をお願いいたします。

歳入補正で申しあげました地方債について、変更及び廃止をしております。

1の変更ですが、過疎対策事業債ソフト分について、6,000万円から2,500万円に減額して、3,500万円としております。

次に、過疎対策事業債ハード分は4億1,300万円から6,790万円減額し、3億4,510万円としております。

続いて、2の廃止ですが、臨時財政対策債2,500万円について廃止をしております。

以上で一般会計補正予算(第7号)の説明を終わらせていただきます。よろしくご

審議のほど、お願いいたします。

議長（板寺正範君）

答弁の途中ですけれども、ここで暫時休憩とします。

（午前11時18分 休憩）

（午前11時19分 再開）

議長（板寺正範君）

休憩前に引き続き、会議を開きます。

町民課長、香取康成君。

町民課長（香取康成君）

それでは、議案第22号、令和6年度東庄町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）につきまして内容の説明を申し上げます。

恐れ入りますが、議案書の113ページをお願いいたします。

初めに歳出でございます。

8款3項1目・直営診療施設勘定繰出金379万3,000円は、東庄病院が実施する救急医療の安定的な運営を目的とした夜間及び休日における日直・当直医師の確保のための事業において、対象経費の3分の2が県・国保特別調整交付金による財政措置の対象となる見通しとなったため、当該措置分を国保東庄病院事業会計に繰り出すものでございます。

続いて歳入でございます。議案書の112ページにお戻りいただきたいと思ます。

5款1項1目2節・特別交付金379万3,000円は、歳出における直営診療施設勘定繰出金の財源となっております。

続いて、議案第23号、令和6年度東庄町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）につきまして内容の説明を申し上げます。

議案書の118ページをお願いいたします。

初めに歳出でございます。

2款1項1目・後期高齢者医療広域連合納付金1,674万9,000円は、被保険者から納付された保険料を財源とする千葉県後期高齢者医療広域連合への納付金でございます。

今年度は団塊の世代の後期高齢者への移行により保険料の納付額を広域連合が昨

年度末に積算し、本町で当初予算額に計上した額を上回ることが見込まれることから増額計上するものでございます。

なお、この納付金の財源は全額が歳入の保険料収入であり、被保険者から納付された保険料の実績分を納付金として支出するため、町の財政負担が増加することはありません。

続いて歳入でございます。議案書の117ページにお戻りいただきたいと思えます。

1款1項・後期高齢者医療保険料1,674万9,000円、歳出の財源となる保険料の増額計上分でございます。うち1目・特別徴収保険料では、年金から特別徴収分として375万9,000円、2目の普通徴収保険料としては、それ以外の納付分として1,299万円をそれぞれ計上しております。

以上で議案第22号及び第23号の説明を終わります。よろしくご審議をお願いいたします。

議長（板寺正範君）

健康福祉課長、布施光規君。

健康福祉課長（布施光規君）

それでは、続きまして、議案第24号、令和6年度東庄町介護保険特別会計補正予算（第3号）について内容をご説明申し上げます。

議案書の123ページをお願いいたします。

歳出よりご説明申し上げます。

3款・地域支援事業費、増額補正550万円は、要支援の通所型サービス利用者が増加したことによる不足分を増額補正するものでございます。

以上の結果、歳出補正額は550万円の増額、歳出合計で16億2,201万5,000円となります。

続きまして、歳入についてご説明申し上げます。122ページをお願いいたします。

8款・繰越金550万円の増額補正は、歳出補正で計上した3款・地域支援事業費550万円の財源として繰越金を充当するものでございます。

以上の結果、歳入補正額は550万円の増額、歳入合計で16億2,201万5,000円となります。

以上で令和6年度東庄町介護保険特別会計補正予算（第3号）の説明を終わります。よろしくご審議のほど、お願い申し上げます。

議長（板寺正範君）

提案理由の説明が終わりましたので、これから質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（板寺正範君）

これで質疑を終わります。

お諮りします。

討論を省略して直ちに採決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（板寺正範君）

ご異議なしと認めます。

これから採決を行います。採決は1件ごとに行います。

初めに、議案第21号、令和6年度東庄町一般会計補正予算（第7号）を採決します。

本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（板寺正範君）

ご異議なしと認めます。

従って、議案第21号は原案のとおり可決されました。

次に、議案第22号、令和6年度東庄町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）を採決します。

本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（板寺正範君）

ご異議なしと認めます。

従って、議案第22号は原案のとおり可決されました。

次に、議案第23号、令和6年度東庄町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）を採決します。

本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長 (板寺正範君)

ご異議なしと認めます。

従って、議案第23号は原案のとおり可決されました。

次に、議案第24号、令和6年度東庄町介護保険特別会計補正予算(第3号)を採決します。

本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長 (板寺正範君)

ご異議なしと認めます。

従って、議案第24号は原案のとおり可決されました。

ここで暫時休憩といたします。再開は午後1時といたします。

(午前11時28分 休憩)

(午後 1時00分 再開)

議長 (板寺正範君)

休憩前に引き続き、会議を開きます。

日程第11、議案第2号、令和7年度東庄町一般会計予算から日程第18、議案第9号、令和7年度東庄町国民健康保険東庄病院事業会計予算まで、以上8案を一括議題とします。

職員に議案の朗読をさせます。

(事務局朗読)

議長 (板寺正範君)

本案について提案理由の説明を求めます。

町長、岩田利雄君。

町長 (岩田利雄君)

それでは、令和7年度東庄町一般会計及び特別会計並びに企業会計、合わせて8会計の予算をご審議いただくにあたりまして、予算の編成方針を申し上げます。

まず初めに、我が国の経済情勢についてですが、令和7年1月の内閣府月例経済報告によりますと、景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復しているとされております。

続いて、国の令和7年度予算のポイントですが、賃上げと投資が牽引する成長型経済へ移行するための予算として編成をされております。政府案における一般会計の予算規模は1兆5,415億円、前年度と比べ2兆9,698億円、2.6%の増となっております。

歳入のうち税収は前年度と比べ12.7%増の7兆4,400億円、公債金は前年度と比べ19.2%減の2兆6,490億円となり、税収の増加により公債依存度が低くなっております。

また、令和7年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度においては令和7年度の国内総生産は6兆2,900億円、名目成長率は2.7%、実質成長率は1.2%と見込まれているところでございます。このような状況の中で当初予算編成ですが、大枠として、第6次東庄町総合計画に基づき事業を積極的に展開をまいります。

また、事業の選択と集中として、行政的な需要が高い事業や東庄町の強みを生かした事業についての的確に対応する予算編成といたしました。細部の予算執行に当たって経費節減を行い、健全な財政運営に努めてまいりたいと考えております。よろしくお願いを申し上げます。

それでは、令和7年度一般会計予算の内容について提案理由を申し上げます。

一般会計予算の総額は6億6,000万円となりまして、前年度当初予算と比べますと1億6,300万円、率で2.5%の増となっております。

続いて、主な事業について申し上げます。

総務関係では、設備の老朽化、そして省エネルギー対策として、役場庁舎における空調設備更新や照明のLED化事業を新規計上しております。

また、各地区における支援として、防犯灯、ごみ集積場の維持管理に関する助成金について充実を図っております。

加えて、デジタル推進事業といたしまして、庁内業務プロセスの見直しにより、業務効率化を図ってまいります。

次に、民生関係でございますけれども、障害者等への寄り添った福祉施策を行うための経費を計上しております。

また、子育て支援として、出産祝金、小・中学校入学祝金を引き続き計上しております。

環境関係では、太陽光発電システムなどの脱炭素化のための住宅用設備等設置補助金、合併処理浄化槽設置補助金について引き続き措置してまいります。

衛生関係では、高校生世代までの医療費の無料化、子供や妊婦に対するインフルエンザ予防接種をはじめとした各種の予防接種費用の助成を引き続き計上しております。

農林業関係では、新規需要米等補助金、そしてまたCSFワクチンの助成など、農業への補助を引き続き計上しております。

土木関係では、安全安心なまちづくり事業として、引き続き道路改良、そして舗装事業を実施してまいります。

加えて町独自の新たな移住・定住支援といたしまして、住宅取得補助金を新規計上しております。こちらは住宅の取得条件により、最大100万円を交付するものとなり、少子化対策や、そして地域経済の活性化を一層強化してまいります。

教育関係では、子供達を熱中症のリスクから守る事業といたしまして、小学校体育館、中学校武道場、こども園なかよしルームについて空調設備の新設更新を考えております。

加えて、中学校体育館について空調対策も含めた老朽化対策として、設計業務を実施いたします。

また、小中学校におきましては、令和7年度末に更新時期を迎えるタブレット端末の更新事業について、債務負担行為を設定しております。

加えて、町民の利便性の向上のため、公民館の夜間開放日数の充実や図書館の開館時間を延長し、役場庁舎と合わせて公民館のLED化により、省エネ対策も行ってまいります。

また、本年は町制施行70周年となる節目の年であります。式典関係、そしてまたドローンを用いた記念イベントなど、町民と共に70年の節目をお祝い出来る記念事業を展開してまいります。

以上、主な事業について申し上げます。

また、歳入につきましては、国・県補助金、そして過疎対策事業債など財政措置が大きいものを有効に活用してまいります。

続きまして、議案第3号、令和7年度東庄町国民健康保険特別会計予算について提案理由を申し上げます。

歳入歳出の総額はそれぞれ16億3,133万2,000円で、前年度比マイナス956万4,000円、0.6%の減額予算となっております。

減額の主な要因であります。被保険者数の減少に伴う関連支出額の減額であります。

続いて、議案第4号、令和7年度東庄町後期高齢者医療特別会計予算について提案理由を申し上げます。

歳入歳出予算の総額はそれぞれ2億2,520万4,000円で、前年度比813万1,000円、3.7%の増額予算となっております。

増額の主な要因であります。被保険者数の増加に伴う後期高齢者医療広域連合へ納付金の増額であります。

続きまして、議案第5号、令和7年度東庄町食肉センター特別会計予算について提案理由を申し上げます。

食肉センターの収入の基本となりますと畜総数は、前年度と同等の9万7,000頭を見込み、歳入歳出で1億6,230万8,000円となっております。

一方、歳出では、施設指定管理者であります東庄町食肉センター事業協同組合に支払う業務管理委託料として9,399万6,000円、財政調整基金への積立として4,074万円、一般会計への繰出金として1,000万円を計上し、歳出総額も1億6,230万8,000円とするものでございます。

続きまして、議案第6号、令和7年度東庄町訪問看護ステーション特別会計について提案理由を申し上げます。

歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ3,557万円と定めるものでございます。前年度と比較しますと177万2,000円、5.2%の増と見込んでおります。

増額の主たる要因であります。人件費の増によるものでございます。

続きまして、議案第7号、令和7年度東庄町介護保険特別会計予算について提案理由を申し上げます。

令和7年度は第9期東庄町介護保険事業計画3ヶ年の2年目に当たります。歳入歳出の総額を歳入歳出それぞれ15億5,467万5,000円と定めるものでございます。

前年度と比較しますと、2,082万1,000円、1.4%の増と見込んでお

ります。

続きまして、議案第8号、令和7年度東庄町水道事業会計予算について提案理由を申し上げます。

初めに業務の予定量といたしまして、年度末給水戸数4,027戸、年間総給水量を149万6,414立米と見込み予算編成を作成いたしました。収益的収入及び支出予算の収入では4億3,753万1,000円で前年度比1万8,000円の増、支出では4億3,427万7,000円で、前年度比281万2,000円の増となり、325万4,000円の黒字編成となっております。

次に、資本的収入及び支出予算の収入はなく、支出では2億1,026万5,000円で、前年度と比較し3,262万7,000円の増額となっております。

なお、支出に対して収入が不足する額につきましては、内部留保資金等で補填することとなっております。

最後に、議案第9号、令和7年度東庄町国民健康保険東庄病院事業会計予算について提案理由を申し上げます。

業務の予定量は、年間患者数が入院で6,935人、外来が2万7,216人、介護医療院の入所は1万3,140人を見込み予算編成をしております。

収益的収支では収入が11億6,638万円で、前年度比118万3,000円の減、支出が11億6,611万1,000円で、前年度比1,725万7,000円の増となり、26万9,000円の黒字の編成となっております。

資本的収支につきましては、収入が1億3,787万7,000円で、前年度比5,375万8,000円の増、支出が1億7,259万円で、前年度比1,600万円の増となっております。

なお、支出に対して収入が不足する額につきましては、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額と過年度分損益勘定留保資金をもって補填することとなっております。

以上、8会計の新年度予算につきまして概要を申し上げます。なお、詳細につきましては担当課長より、また事務長より説明をいたさせます。ご審議の上、可決くださいますようよろしくお願い申し上げます。

議長（板寺正範君）

企画財政担当課長、加瀬博子君。

企画財政担当課長（加瀬博子君）

議案第2号、令和7年度東庄町一般会計予算について内容の説明を申し上げます。

なお、細部につきましては、この後、予算決算常任委員会へ付託される予定と伺っておりますので、私からは概要のみを申し上げます。あらかじめご了承くださいますよう、お願いいたします。

それでは、お手元の予算参考資料によりご説明をいたします。予算参考資料の1ページをお願いいたします。

令和7年度の歳入予算につきまして、款ごとに令和6年度と比較し、その構成比を示したものでございます。

歳入で大きく増加したものが、11款・地方交付税、19款・繰入金です。

地方交付税は23億6,000万円、前年度比で9,000万円、4.0%の増となっております。物価高騰などによる国の単価基準の増により、普通交付税の増額を見込んでおります。

続きまして、繰入金は4億3,316万3,000円で、前年度比1億7,327万2,000円、66.7%の増となっております。こちらは、歳出予算の役場庁舎空調設備更新工事に対する財源として繰入れを行うものです。

反対に大きく減少しましたものが、16款・県支出金で4億3,979万円となり、前年度比で1億1,818万7,000円、21.2%の減となっております。こちらは令和6年度の畜産関係補助金の減によるものです。

続きまして、歳出予算について概要を申し上げますので、2ページをお願いいたします。

増減の大きいものについてのみ申し上げます。

まず、2款・総務費11億4,070万1,000円、前年度比で1億9,143万4,000円、20.2%の増となっております。こちらは、先程ご説明いたしました役場庁舎の空調設備更新事業が増額の主な要因となっております。

次に、3款・民生費18億1,375万9,000円、前年度比1億185万3,000円、5.9%の増となっております。こちらは児童手当の拡充や自立支援給付費などの社会保障経費の増額が主な増加要因となっております。

次に、4款・衛生費9億4,743万6,000円、前年度比で8,508万2,000円、8.2%の減となっております。東庄病院への繰出金の減額が主な要因

となっております。

次に、5款・農林水産業費3億620万円、前年度比で1億8,803万7,000円、38.0%の減となっております。こちらは令和6年度の畜産関係補助金の減によるものです。

次に、9款・教育費9億1万2,000円、前年度比で9,878万7,000円、12.3%の増となっております。こちらは東庄小学校体育館の空調設備設置事業が主な増加要因となっております。

増減の大きいものは以上となります。

なお、右側の円グラフは目的別歳出予算の款ごとの構成比を表したものでございますので、後ほどご覧いただければと思います。

次の3ページは、歳出予算について性質別ごとに表したものでございます。

最も金額の大きいものは、消費的経費の補助費等で14億4,986万6,000円となり、構成比は21.8%となっております。

2番目に金額が大きいものが人件費の11億7,126万7,000円で、構成比は17.6%となっております。人件費につきましては、給与改定や職員数の増などにより増額となっております。

3番目に金額が大きいものが、物件費の11億3,512万円で、構成比は17.0%となっております。

以上、性質別歳出予算の主立ったものを申し上げます。

次の4ページ、5ページは、ただいま申し上げます歳出予算について、4ページで節別、5ページは性質別の歳出予算を款ごとに集計した表となっておりますので、後ほどご参照いただければと思います。

6ページをお願いいたします。

ここでは町全体の予算規模についてご説明いたします。左の表では一般会計を初め、全8会計の予算につきまして、前年度予算と比較して増減額と増減率を記載してございます。

8会計の総額は、122億5,233万2,000円となりまして、前年度と比較しますと、2億7,217万4,000円、2.3%の増となっております。

また、右の表は、一般会計から特別会計や企業会計への繰出金を表したものでございます。7会計のうち6会計に繰出しを行っており、総額は8億4,877万9,

000円となり、前年度比で6,803万8,000円、7.4%の減となっております。

7ページをお願いいたします。こちらの表は一般会計から一部事務組合などへの負担の状況を前年度と比較して示したものでございます。

総額は6億5,564万4,000円で、3,758万1,000円、6.1%の増となっております。なお、一番上の香取市東庄町病院組合の解散に伴う精算金につきましては、令和6年度をもって終了となっております。

次の8ページ、9ページは、一部事務組合の令和7年度事業概要となっております。

次の10ページから14ページでは、令和7年度予算に盛り込んだ課ごとの主要な事業についての一覧となっておりますので、予算書と併せてご参照いただきたいと思います。

これで参考資料の説明を終わらせていただきまして、次に、予算書の1ページをお願いいたします。

ただいま一般会計予算の第1条、歳入歳出予算について申し上げましたが、これから第2条以下についてご説明いたします。

第2条以下につきまして、地方自治法の規定に基づいて定めるものとなっております。

第2条は債務負担行為でございまして、後年度の債務を負担することについて定めるものです。8ページに記載してございます。

第3条は地方債でございまして、起こすことが出来る地方債について定めるものとなっております。9ページに記載してございます。

第4条で、一時借入金でございしますが、年度内において歳計現金に不足が生じた場合、その支払資金の不足を補うため、借入れ出来る最高額を定めるもので、その額を2億円とする内容でございます。

第5条は歳出予算の流用でございまして、歳出予算の各項の経費の金額を流用することが出来る場合を規定しております。各項に計上した給料、職員手当及び共済費に係る予算額に過不足を生じた場合において、同一款内でのこれらの経費の各項間の流用が出来ると定めております。

以上で、令和7年度東庄町一般会計予算の内容説明を終わらせていただきます。

よろしくご審議のほど、お願いいたします。

議長（板寺正範君）

町民課長、香取康成君。

町民課長（香取康成君）

それでは、議案第3号、令和7年度東庄町国民健康保険特別会計予算につきましてご説明申し上げます。

予算参考資料を使って概要を説明させていただきます。参考資料の15ページをお願いいたします。

初めに歳入からご説明いたします。

歳入合計は16億3,133万2,000円で前年度比較マイナス956万4,000円、0.6%の減額でございます。

主な減額の要因は、被保険者数の減少に伴う関連支出額の減でございます。

それでは、左の表を使って主なものをご説明させていただきます。

1款・国民健康保険税は3億1,688万2,000円、前年度比較マイナス29万6,000円、2.8%の減。

減額の要因は、被保険者数の減少によるものでございます。

5款・県支出金は11億3,705万1,000円で、前年度比較マイナス169万9,000円、0.1%の減。右の円グラフにおいて、全体の69.7%を占めております。

減額の主な要因は、被保険者数の減少に伴う特別交付金の減額を見込んでおります。

7款・繰入金は1億4,498万7,000円で、前年度比較480万5,000円、3.4%の増。内訳は、一般会計からの法定繰入金並びに基金繰入金です。

増額の要因は、新たに基金繰入金を計上したことによるものでございます。

8款・繰越金は2,000万円で、500万円の減。歳入が歳出に不足する額を計上しております。

9款・諸収入は1,167万3,000円、前年度比較95万円、8.9%の増。

増額の主な要因は、後期高齢者の被保険者数の増加に伴う健康診査業務受託料の増額を見込んでおります。

続きまして、歳出についてご説明します。次の16ページをお願いいたします。

歳出合計16億3,133万2,000円、歳入と同額でございます。

2款・保険給付費は11億451万4,000円で、前年度比較5万9,000円の増、ほぼ横ばいとなっております。医療機関等へ支払う療養給付費等でございます。

3款・国民健康保険事業費納付金は4億906万4,000円で前年度比較マイナス1,013万9,000円、2.4%の減。国民健康保険の財政運営主体である千葉県に対して支出する納付金でございます。

5款・保健事業費は7,011万5,000円で前年度比較117万2,000円、1.7%の増。主な内容は、特定健診委託料及び保健衛生係職員4人分の人件費を含む保健センター事業費並びに東庄病院へ委託している短期人間ドック委託料でございます。

8款・諸支出金は227万6,000円、前年度比較マイナス159万7,000円で41.2%の減。主なものは国保税の過誤納還付金及び繰出金となっております。

減額の主な要因は、東庄病院に支出する直営診療施設勘定繰出金の減額分でございます。

以上で令和7年度東庄町国民健康保険特別会計予算の概要説明を終了いたします。

続きまして、議案第4号、令和7年度東庄町後期高齢者医療特別会計予算について説明いたします。

同じく参考資料の18ページをお願いいたします。

令和7年度の予算合計額は、歳入歳出それぞれ2億2,520万4,000円、前年度比813万1,000円、3.7%の増額でございます。

それでは、歳入の主なものからご説明申し上げます。

1款・後期高齢者医療保険料は1億6,874万5,000円、前年度比較624万5,000円、3.8%の増額で、右の円グラフにありますように歳入全体の74.9%を占めております。

増額の主な要因は、被保険者数の増によるものでございます。

3款・繰入金金は5,510万9,000円で、前年度比較167万9,000円、3.1%の増。保険基盤安定制度に係る繰入金で、県からの繰入分と町負担分を合わせた額でございます。

次に、歳出の主なものをご説明申し上げます。

1 款・総務費 2 9 2 万 5, 0 0 0 円は、電算システム関係などの一般管理費及び保険料の徴収に係る経費でございます。

2 款・後期高齢者医療広域連合納付金は 2 億 2, 1 8 9 万 5, 0 0 0 円で、前年度比較 7 6 4 万 6, 0 0 0 円、3. 6 % の増。千葉県後期高齢者医療広域連合に支出する納付金で、財源は歳入における保険料及び保険基盤安定繰入金となっております。

以上で令和 7 年度東庄町後期高齢者医療特別会計予算の説明を終了いたします。よろしく願いいたします。

議長（板寺正範君）

まちづくり課長、鈴木秀樹君。

まちづくり課長（鈴木秀樹君）

それでは、議案第 5 号、令和 7 年度東庄町食肉センター特別会計予算についてご説明いたします。

予算参考資料の 1 9 ページをお願いいたします。

令和 7 年度のと畜処理頭数は 9 万 7, 0 0 0 頭を見込み、令和 6 年度と同等の事業量を見込んでおります。

歳入よりご説明いたします。

項目 1 の営業収益につきましては、令和 6 年度と同等の 1 億 1, 2 6 4 万 6, 0 0 0 円を見込んでおります。

次に、項目 2 の繰越金は 4, 8 9 2 万円を見込み、前年度との比較では 1, 8 5 8 万 4, 0 0 0 円の増額となっております。

次に、項目 3 の財産収入でございますが、財政調整基金預金利子として 7 4 万円を見込み、前年度との比較では 7 3 万 4, 0 0 0 円の増額となっております。

次に、項目 4 の諸収入については、歳計金預金利子及び雑入の受入項目として 2, 0 0 0 円を計上しております。

歳入合計は 1 億 6, 2 3 0 万 8, 0 0 0 円で、前年度と比較して 1, 9 3 1 万 8, 0 0 0 円の増額、率にして 1 3. 5 % の増となっております。

続きまして、歳出をご説明いたします。

項目 1 の営業費用でございますが、主な内訳は、食肉センター施設指定管理者東

庄町食肉センター事業協同組合に支払う委託料として、前年度と同額の9,399万6,000円を計上しております。

次に、項目2の積立金でございますが、食肉センター特別会計財政調整基金として4,074万円を計上いたしました。前年度と比較して1,573万4,000円の増額、率にして62.9%の増となっております。これは昨今における資材価格や人件費の高騰を考慮し、将来における大規模な改修工事に備えて基金積立額を増額しております。

次に、項目3の繰出金でございますが、一般会計の繰出金で1,000万円を計上いたしました。前年度と同額となっております。

項目4の予備費は677万円を見込み、前年度と比較して261万円の減額、率にして27.8%の減となっております。

歳出合計は、歳入合計と同額の1億6,230万8,000円とするものでございます。

以上で食肉センター特別会計の予算説明を終わりにします。内容の詳細につきましては予算決算常任委員会でご説明いたします。よろしくお願いいたします。

議長（板寺正範君）

健康福祉課長、布施光規君。

健康福祉課長（布施光規君）

それでは、議案第6号、令和7年度東庄町訪問看護ステーション特別会計予算についてご説明申し上げます。

予算参考資料の20ページをお願いいたします。

なお、この後、予算決算常任委員会に付託されると聞いておりますので、私からは概略をご説明申し上げます。

初めに、歳入からご説明申し上げます。

1款・事業収入は2,280万8,000円で、右側の円グラフにありますように歳入全体の64.1%を占めております。

前年度比732万8,000円、47.3%の増を見込んでおります。

増額の主な要因は、利用者の増加によるものでございます。

2款・繰入金は、1,074万3,000円で、前年度比555万8,000円、34.1%の減を見込んでおります。これは歳入の不足分を一般会計からの繰入金

で補うものでございます。

3款・繰越金は、前年度繰越金として200万円、前年度同額を見込んでおります。

以上、歳入合計は3,557万円、前年度比177万2,000円、5.2%の増となっております。

続いて、歳出についてご説明申し上げます。

21ページをお願いいたします。

1款・事業費は3,547万円で、右側の円グラフにありますように歳出全体の99.7%を占めております。前年度比177万2,000円、5.3%の増を見込んでおります。

事業費の主なものは、看護職員4名及び会計年度任用職員1名の人件費等でございます。

以上、歳出合計は歳入と同額の3,557万円、前年度比177万2,000円、5.2%の増となっております。

なお、下段の表には、令和2年度から令和6年度12月までの年度別利用実績を記載してございます。

以上で令和7年度東庄町訪問看護ステーション特別会計予算の説明を終わらせていただきます。

続きまして、議案第7号、令和7年度東庄町介護保険特別会計予算についてご説明申し上げます。

予算参考資料の22ページをお願いいたします。

なお、この後、予算決算常任委員会に付託されると聞いておりますので、私からは概略をご説明申し上げます。

初めに歳入からご説明申し上げます。

1款・保険料につきましては、3億2,104万8,000円、前年度比443万1,000円、1.4%の増を見込んでおります。これは65歳以上の第1号被保険者の保険料でございます。

3款・国庫支出金、4款・支払基金交付金、5款・県支出金につきましては、介護サービス利用に対する保険給付費及び地域支援事業費に要する費用に対する負担額であり、介護保険法によりそれぞれ負担割合が定められております。

3款・国庫支出金3億3,432万8,000円は、前年度比212万1,000円、0.6%の増。

4款・支払基金交付金4億92万6,000円は、前年度比260万9,000円、0.7%の増。これは40歳から64歳の第2号被保険者の保険料でございます。

5款・県支出金2億2,024万4,000円は、前年度比132万8,000円、0.6%の増を見込んでおります。

7款・繰入金は、一般会計及び介護給付費準備基金積立金からの繰入金として2億7,565万5,000円、前年度比992万3,000円、3.7%の増を見込んでおります。

8款・繰越金につきましては、前年度繰越金として138万2,000円を見込んでおります。

以上、歳入合計は15億5,467万5,000円、前年度比2,082万1,000円、1.4%の増となっております。

次に、歳出についてご説明申し上げます。23ページをお願いいたします。

1款・総務費については4,922万9,000円、前年度比998万1,000円、25.4%の増を見込んでおります。

増額の要因は、介護認定審査会をペーパーレス会議にするための経費などによるものでございます。

2款・保険給付費は14億3,879万円で、右側の円グラフにありますように、歳出全体の92.5%を占めており、前年度比247万円、0.2%の増を見込んでおります。

3款・地域支援事業費につきましては、6,445万3,000円、前年度比808万2,000円、14.3%の増を見込んでおります。

増額の要因は、介護予防相当の通所介護の負担が増加したことによるものでございます。

5款・諸支出金120万2,000円につきましては、高額介護サービス費貸付金などで前年度比28万8,000円、31.5%の増を見込んでおります。

6款・予備費100万円につきましては、前年度と同額を見込んでおります。

以上、歳出合計は、歳入と同額の15億5,467万5,000円、前年度比2,

082万1,000円、1.4%の増となっております。

なお、24ページにつきましては、令和2年度から令和6年度10月までの第1号被保険者数、要介護・要支援認定者数、居宅介護・施設介護の各サービスの受給者数を記載しておりますので、後ほどご覧いただきたいと存じます。

以上で、令和7年度東庄町介護保険特別会計予算の説明を終わらせていただきます。よろしくお願ひ申し上げます。

議長（板寺正範君）

まちづくり課長、鈴木秀樹君。

まちづくり課長（鈴木秀樹君）

それでは、議案第8号、令和7年度東庄町水道事業会計予算について内容の説明を申し上げます。

予算参考資料の25ページをお願いいたします。

初めに、令和7年度水道事業の1、業務の予定量についてでございます。

年度末給水戸数4,027戸、年間総給水量149万6,414立方メートル、1日平均給水量4,100立方メートル、普及率86.0%を見込み予算編成をいたしました。

次に、右上の水道事業会計予算状況をご覧ください。

収益的収入及び支出予算の収入では4億3,753万1,000円、支出では4億3,427万7,000円、収支差引で325万4,000円の純利益となっております。

次に、左側の表をご覧ください。

収益的収入のうち、営業収益では3億5,343万7,000円で、前年度との比較では1,640万9,000円の減。率にして4.4%の減となっております。

給水収益は3億4,567万2,000円となりまして、全体の79.0%を占めております。

また、営業外収益につきましては、8,409万3,000円で、前年度と比較し1,642万7,000円の増となっております。

営業外収益のうち、一般会計補助金は前年度同額の5,000万円で、全体の11.4%となっております。県補助金は、2,639万9,000円で、前年度と比較して1,853万4,000円の増、収益全体の6.0%となっております。

次に、収益的支出のうち営業費用は4億2,891万1,000円で、前年度と比較して286万7,000円の増、率にして0.7%の増となっております。

この内容でございますが、受水費が2億6,700万9,000円で、前年度と比較して62万5,000円の増で、全体に占める割合は61.5%となっております。

減価償却費につきましては、3,688万9,000円で、941万1,000円の減、人件費につきましては2,825万2,000円で、職員の異動等により100万6,000円の増となっております。

その他営業費用につきましては9,676万1,000円で、前年度と比較して1,064万7,000円の増。

主な要因といたしまして、漏水調査委託料や過去に漏水した引込管の更新によるものです。

次に、営業外費用は516万5,000円で、前年度と比較して5万5,000円の減、率で1.1%減となっております。この内容につきましては支払利息の減少によるものでございます。

続きまして、26ページをお願いいたします。

資本的収入及び支出予算についてご説明を申し上げます。

資本的収入はありません。

資本的支出は2億1,026万5,000円で、収支差引で2億1,026万5,000円の不足となります。

この収支不足額は消費税等収支調整額1,839万8,000円、過年度分損益勘定留保資金1億9,186万7,000円で補填するものでございます。

次に、下のグラフをご覧ください。

建設改良費が2億105万3,000円で全体の95.6%を占めております。

主な内容につきましては、重要給水管管路更新工事（笹川ろ）として1億3,328万円、重要給水管の更新工事（谷津地先）1,332万円、配水管更新工事に3,520万円を計上いたしました。

固定資産取得費180万円の主なものとして仕切弁設置工事に100万円を計上いたしました。

企業債償還金741万2,000円につきましては、企業債の元金の償還でござ

います。

以上で令和7年度東庄町水道事業会計予算についての説明を終わりにいたします。

なお、詳細につきましては予算決算常任委員会でご説明いたしますので、よろしくお願いいたします。

議長（板寺正範君）

病院事務長、渡辺佳則君。

病院事務長（渡辺佳則君）

それでは、議案第9号、令和7年度東庄町国民健康保険東庄病院事業会計予算について内容のご説明を申し上げます。

予算参考資料の27ページをお願いいたします。

業務の予定量ですが、一般病床は32床、介護医療院の定員は46人となります。

年間診療日数は、入院・入所が365日、外来が252日となります。

なお、外来の診療につきましては、日曜、祭日及び年末年始の12月29日から翌年1月3日までと毎月第1土曜日以外の土曜日が休診となります。

年間患者数につきましては、入院6,935人、1日平均19人。外来2万7,216人、1日平均108人。入所1万3,140人、1日平均36人を見込んでおります。

以上の業務予定量に基づきまして、令和7年度の収益的収支の予算編成をしております。

初めに、収益的収入ですが、医業収益は7億1,858万1,000円を見込んでおります。

事業収益の内訳としましては、入院収益、外来収益、その他医業収益となります。

次に、福祉サービス収益は2億2,568万2,000円を見込んでおります。こちらは介護医療院の収益となります。

次に、医業外収益ですが、2億2,201万7,000円を見込んでおります。

医業外収益の内訳としましては、負担金交付金、長期前受金戻入金、その他医業外収益等となります。

特別利益は10万円を見込んでおり、収益的収入の合計は11億6,638万円、前年度と比較して118万3,000円の減となっております。

次に、資本的支出ですが、病院全体で一括購入するなどしているため、厳密に分

けることが困難であり、病院事業収益に対する福祉サービス収益の割合で、材料費、経費、減価償却費、その他医業費用を案分しての計上となっております。

まず、医業費用は8億4,303万1,000円を見込んでおります。医業費用の内訳としましては、1、給与費、職員と会計年度任用職員分の給与等から、5、その他医業費用の内容となっております。

次に、福祉サービス費用は3億832万1,000円、項目については医業費用と同様となっております。

医業外費用は1,265万9,000円を見込んでおります。医業外費用の内訳としましては、支払利息、その他医業外費用等となります。

特別損失は前年と同額の10万円を見込んでおります。

予備費も前年と同額の200万円を見込んでおり、収益的支出の合計は11億6,611万1,000円、前年度と比較して1,725万7,000円の増を見込んでおります。

以上のように、収益的収支は、収入が11億6,638万円、支出が11億6,611万1,000円、収支差引は26万9,000円の黒字の予算編成となっております。

右側の円グラフは、ただいま説明をいたしました収益的収支について内訳の構成割合を表したものです。なお、収益的支出の円グラフにつきましては、給与費からその他医業費用まで医業費用分と福祉サービス費用分を合算して表示しております。

次のページをお願いいたします。

資本的収支の予算となります。

まず、資本的収入は企業債、出資金、固定資産売却代金を合計して1億3,787万7,000円を見込んでおります。

その内訳の主なものは、建設改良事業に伴う企業債5,200万円、出資金のうち一般会計出資金の企業債元金償還分が4,587万6,000円、建設改良分が4,000万円となっております。

次に、資本的支出は、建設改良費、企業債元金償還金を合計して1億7,259万円を見込んでおります。その内訳は、建設改良費のうち資産購入費分で1,912万5,000円、施設整備費分で8,272万6,000円となっており、企業債元金償還金が7,073万9,000円となっております。

なお、奨学資金貸付金は、申請者があった場合に補正予算で対応することとし、当初予算には計上してございません。

建設改良費の内訳ですが、器具備品購入費の主なものは、ベッドの購入365万円、公用車の購入、2台で550万円、こちらは医師送迎、リハビリ送迎等に利用するものです。

また、工事費の主なものは本館雨漏りを修理するためのもので、本館屋根防水改修工事3,315万6,000円、本館エレベーター一部更新工事1,958万円となっております。

これによりまして、資本的収入額が資本的支出額に不足する額3,471万3,000円は、当年度分消費税資本的収支調整額78万2,000円と過年度分損益勘定留保資金3,393万1,000円で補填するものでございます。

なお、予算の詳細につきましては、予算決算常任委員会で説明をさせていただきます。

以上で説明を終わらせていただきます。よろしくお願いいたします。

議長（板寺正範君）

提案理由の説明が終わりました。

ただいま議題となっております議案第2号から議案第9号までについては、会議規則第38条第1項の規定により、お手元の付託表のとおり所管の常任委員会に審査の付託をします。

日程第19、休会の件を議題とします。

お諮りします。

委員会審査等のため、3月7日から13日までの7日間を休会としたいと思います。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（板寺正範君）

ご異議なしと認めます。

従って、3月7日から13日までの7日間を休会とすることに決定しました。

以上で本日の日程は全部終了しました。

3月14日の会議は、議事の都合により午後2時30分に繰り下げて開くことに

します。予定の時刻にご参集願います。

本日はこれで散会します。ご苦労さまでした。

(午後 2時18分 散会)